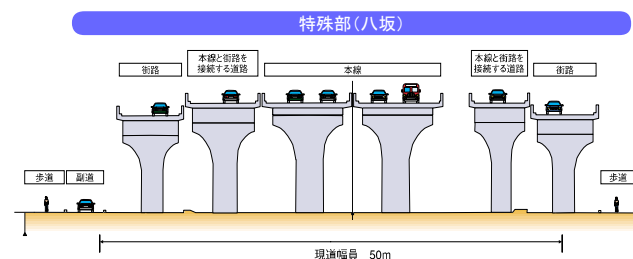
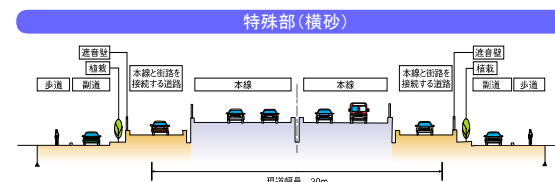
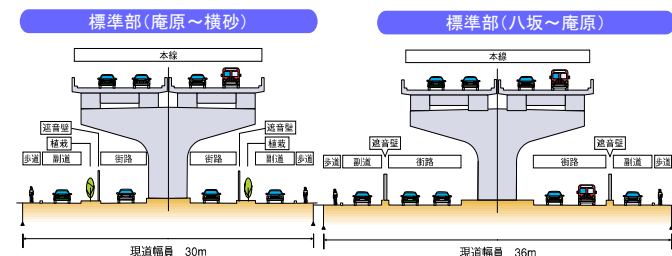
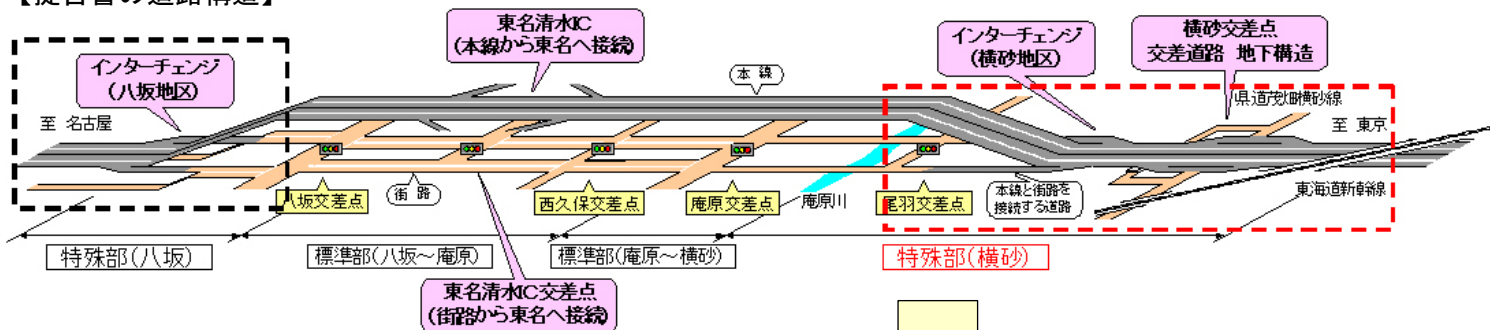


2. (提言書の)道路構造の確認

- 標準部(八坂～庵原・庵原～横砂): 基本的に拡幅がなく、通過交通と沿道交通が完全分離でき、安全面・使いやすさの面で問題ない。
- 特殊部(八坂): 拡幅が必要であるものの、既に立体化がされている区間であり、現況と交通処理方法は大きく変わらず問題ない。
- 特殊部(横砂): 拡幅が必要であり、かつ、**交差点とインターチェンジや分合流箇所が近接し安全性にやや劣ること、街路がないため沿道の利便性がやや劣ること**などの問題がある。

【提言書の道路構造】



- 提言書での「今後の課題」、「今後配慮すべき事項」等を踏まえ、計画決定に向け道路構造を確認。道路構造の確認の結果、**特殊部(横砂)**において更なる工夫の余地があることが判明。

- 改善案検討に当たって、配慮事項、検討課題を踏まえた改善のポイントを整理。

提言書での今後の課題・今後配慮すべき事項

■今後の課題
【まちづくりの観点からの配慮】
...高架下は地域の道路空間として安全で使いやすいものとすべきです...

■今後配慮すべき事項
・沿道まちづくり: 景観、沿道サービスの確保、住民意見を反映できる取り組み

■今後配慮すべき事項
・排水問題: 堀切沢や農業用水の浸水対策、河川改修の早期完成の努力

WSにおける横砂地区住民の意見

■交差方法への地域住民の関心
・横砂交差点は、東西方向はスムーズになるが、南北方向の迂回が気になる。
・横砂は新幹線を超える高架にしてほしい。

■沿道土地利用に関する地域住民意見
・横砂についても(沿道土地利用等の)将来の発展を考えてほしい。
・将来展望を描き、土地活用してほしい。

■浸水への配慮の要望
・横砂交差点の交差道路の立体構造は、水の心配があるため高架にしてはどうか。
・治水にも十分配慮して道づくりしてほしい。

配慮事項

利便性
(安全で使いやすい道路構造)

まちづくり
(沿道利用)

浸水対策
(信頼性の高い道路)

検討課題

安全性・利便性の向上
・交差点とインターチェンジの距離確保
・通過交通と沿道交通の分離
・わかりやすい交差構造
・街路の連続性の確保

浸水対策
・交差県道の浸水対策

利用形態別改善のポイント

①本線出入りのしやすさ・安全性の向上
・分合流部の集約

②県道出入りのわかりやすさ・安全性の向上
・本線への出入箇所の単純化
・交差点と本線出入箇所の距離の確保

③沿道交通の使いやすさ・安全性向上
・県道と街路の連続性の確保

④横断機能の信頼性確保
・県道茂畑横砂線の本線横断部計画高の嵩上げ